



燦さんらん 爛

学校前が一層明るく華やかに 全校で学校花壇の植栽作業

6月21日(水)に、学校花壇の植栽作業を全校で行いました。



今回は、校舎前の花壇のほかプランターも使い、サルビアやベゴニア、マリーゴールドを植えました。作業に当たっては地域コーディネーターの山崎さんにお越しいただいたほか、本校用務員の遠藤さんからご指導をいただきながら作業を行いました。事前に遠藤さんがマルチ張りや穴開け、プランターへの土入れなどをしてくださったおかげで、大変スムーズに作業が進められました。この日は天気がよく、大変暑い中での作業となりましたが、生徒たちはそんな暑さにも負けず、懸命に丁寧な作業をしていました。

地域コーディネーター山崎さん
のご指導を受けながら植栽

きれいに整然と植えられ、並べられた花は、これ

から学年ごとに分担した箇所の水やりや追肥、除草などのお世話をしていくことになります(夏休み中は、部活動ごとに当番を決める予定です)。

秋まできれいな花を咲かせ、学校を飾ってくれることを楽しみにしたいと思います。



数学の授業を通して 少人数学習の研修

郡市総体を終え、振り替え休日も明けた6月20日(火)に、今年度最初の指導主事訪問がありました。

今回訪問して下さったのは、南教育事務所の小田長早苗指導主事です。この日は、2年生の数学「連立方程式」の授業を参観していただき、その後、本校が加配をいただいている「少人数学習」の研修と、授業についての研究協議会、数学科の教科研修会を行いました。



研究授業は、速さ・時間・道のりの問題について、連立方程式を使って解く方法を考えるものでした。1人1台端末や、教室に設置された2台の電子黒板などを活用し、一人一人が考えたことを基に、2つの解き方それぞれのよさや気を付けるところについてグループで交流したり、全体で共有したりしながら進められていきました。ICT機器やアプリには日頃から慣れている生徒たちですので、ノートやプリントと併用しながら、上手に使いこなしていて感心しました。また、個々の考えを自分の言葉でしっかり説明できる力も育ってきていることを感じる授業でした。



小田長指導主事からは、「本校は数学専門の教員だけでTT(ティーム・ティーチング)を行っているので、様々な学習形態を取ることができる。MetaMoJiによるモニタリング機能の活用だけでなく、一人一人の丁寧な見取りも行われているのがよい」といったご感想や、「比較検討する学習では、両方の解き方をやってみないと、よいところや気を付けるところが理解しにくいのではないか」といったご意見をいただきました。



先生方の授業研究会の一コマ

今回の研修をこれからの授業づくりに生かしたいと思います。

指導主事計画訪問 (少人数・数学)

7月1日 開校記念日に寄せて

—校舎の変遷を辿って—

7月1日は、本校の開校記念日です。本来であれば、開校記念日は学校休業日になるのですが、今年は土曜日になってしまったため、ちょっぴり損をした気分の生徒もいるかも知れません。

学校の沿革を紐解くと、昭和33年(1958年)に「内小友中学校」と「大川西根中学校」の各中学校が統合して創立された「大曲第二中学校」が本校の始まりとなっており、この大曲第二中学校が創立された7月1日を開校記念日に制定しています。

そして現在の「大曲西中学校」に改称され、校章が制定されたのが、その翌年である昭和34年(1959年)の3月、同年10月に新校舎落成と開校を記念する式典を行っています。

ここでは、これまでの校舎の変遷を写真で辿ってみました。上記のように、昭和33年に大曲第二中学校としてスタートしたものの、新校舎が完成するまでは、内小友は南校舎、大川西根は北校舎として授業を行っていたとのことで、写真は当時の各校舎と、昭和36年(1961年)当時の校舎、そして昭和55年(1980年)に完成した現校舎となっています。こうして並べて見ることで、本校の長い歴史を感じていただけるのではないのでしょうか。

この学校報をお読みくださっている皆様の中には、旧校舎で学んだ方や、今の校舎でも体育館や音楽室は以前のものだったという方がいらっしゃるかと思います。開校記念日に当たり、ご家庭で学校の思い出話などをしてみてはいかがでしょうか。



南校舎(旧内小友中)(写真左)と北校舎(旧大川西根中)(写真右)



昭和36年当時の校舎



昭和55年当時の校舎



郡市総体等の表彰を受けた皆さん



各部から郡市総体の報告



6月ハッピープロジェクト

6月23日(金)
週末集会より